

丘の学校 学校運営委員会だより

令和7年5月2日
富士の学び舎
世田谷区立多聞小学校
学校運営委員会
NO. 1

【第1回 学校運営委員会報告】

1 開催日時 令和7年4月17日（木）18:30～19:30

出席者：河野寛、小泉玲子、川田英明、川村陽子、
菅野義英、山本久美恵、清家政巳、大角恵里、
平間学
事務局：長田尚子、木村知子

2 議事録

(1) 学校運営委員長挨拶

今年度より学校運営委員長となりました国士舘大学の河野寛です。前任の佐々木先生と同じく体育を専門としています。私は小学生と中学生の子どもの父親でもあります。これから学校運営委員としてどうぞよろしくお願いいたします。

(2) 校長より

1 学校経営方針について ※資料より

①はじめに

- ・学校経営方針（4/1の職員への話）

②[概要版]学校経営方針

- ・目指す学校像を「誰にでも居場所がある学校（子供も大人も安心でき笑顔になれる学校）」
- ・「学級・学年経営の安定」と「情報の共有化」をトップに
- ・コミュニケーション～共通の認識、即時対応
- ・「ひと手間を惜しまない」「先手を打つ」

2 学校状況及び教職員の移動等及び人事配置について

- ・児童数753名（ひだまり学級17名）
- ・通常の学級23学級＋特別支援学級3学級＝26学級（養護教諭2名体制）
- ・転出・退職＝9名 ・転入・新規＝12名（SC、包括支援員含む）
（育休復帰＝1名） ・外国語専科枠＝1名
- ・過去10年の児童数の推移...過去10年でほぼ2倍に。
- ・H28にすまいるルーム（拠点校）が教員2名でスタート。R7は教員4名。この後5名体制へ。

3 教育活動における令和7年度の主な行事予定

- ・学校公開は、年間8日実施。うち2日が土曜日。（6月・2月）
- ・運動会（10月）、学習発表会（12月）も土曜日実施。
- ・個人面談は、5月、7月（夏季休業中）、12月の年間3回。

※7月、12月の個人面談をもって通知表所見に代えることは継続。

※夏期水泳指導は廃止。（熱中症対策、面談の日程確保、働き方改革）

- ・保護者会は、4月、7月、9月、3月（6年生は2月）

※1月を廃止。書初め展は、期間をお知らせし、フリーに参観してもらう。

4 4・5月の教育活動について

4/ 7（月） 始業式・入学式 /8（火）～ 富士の学び舎あいさつ運動

9（水）・10（木） 保護者会 /17（木） 全国学力・学習状況調査（6年生）

18（金） 1年生を迎える会

21（月） 消防写生会（2・3年生）/22（火）4年生遠足（井の頭公園）

5/ 2（金） 離任式

7（水）～13（火） すくもり週間

7（水）・8（木）・9（金）・12（月）・13（火） 個人面談

12（月） 校内ミステリーツアー（PTA）/16（金） 3年生遠足（井の頭公園）

21（水） 5年生川場移動教室保護者説明会※川場移動教室は6/25（水）～27（金）

28（水） 校内研究授業① /30（金） 4年生美術鑑賞教室

5. その他

年度当初の児童・教職員の状況について

(2) ご意見・ご感想 (一部抜粋)

小泉： 昨年度と大きく変わらず学校が運営されていくのが分かり安心しました。富士の学び舎あいさつ運動では、1年生が元気よく挨拶し、登校している姿が見られました。都道26号線の信号で見守りをしていると、早く切り替わる信号なので点滅しているときに無理に渡ってしまうのではないかと心配しています。保護者がいるときであっても、信号点滅時には止まってほしいです。保護者の行いを子どもは真似します。都道26号線は交通量も多く、自転車のマナーも十分に守られていないと感じます。入学に合わせて、自転車の後ろに子どもを乗せて登校するのではなく、児童自身で登校できるようにしてもらいたいです。

川田： 校長先生の学校経営方針を伺い、今年度も学校運営は安心だと感じました。都道26号線の話が出ていましたが、現在、道路脇に駐車している大きな車について警察がパトカーを出して取り締まりをしてくれています。自転車については、信号のあるところでも止まらずに突っ込んでくる危険な場面がありました。引き続き見守っていきたいです。

山本： 入学式に参加しました。今年の新入生は式中に振り向く子も少なく、話をよく聞いて集中力があると感じました。今年の1年生はしっかりしている印象です。朝も泣かずに登校しています。登校時に校長が正門で立って迎えてくれると、子どもたちも安心して学校に入れると思いました。これからの成長が楽しみです。信号の渡り方について、信号無視する大人の姿を真似する子どもも出てくるのではないかと心配です。保護者にも信号の渡り方については周知徹底する必要があると考えます。

清家： 1年生の4月中旬まで下校は下校コースごとに列になって帰っています。交差点等、手を挙げて渡ることを指導してほしいです。登校時は、上級生に混じって1年生が元気に挨拶する様子が見られます。2年生を見ると、1年間で随分成長したと感じました。引き続き給食門近くの交差点で登下校の見守りを行っていきます。

大角： 今年度も学校経営方針が大きな変更なく引き継がれており、安心しました。今年度より学芸会が学習発表会に変わると伺いました。学習発表会に変わっても学芸会のよさを残し、子どもたちに指導してってもらいたいです。先日の保護者会はたくさんの保護者が参加していました。全体会の話のボリュームが大きく、学級での保護者の自己紹介の時間が省略されてしまったのは残念です。次回は全体での時間配分を十分に検討した上で、学級保護者会での時間も確保してもらいたいです。働き方改革で、先生方には身体を大事にして、早めに帰っていただきたいです。

川村： 入学式に参加しました。新入生はよくお返事ができ、長い時間人の話を聞くことができる姿が見られました。普段の生活の様子は、落ち着いていて、泣いている子が少なく、下駄箱まで送る保護者の方も少ない、自立して生活しようとする子が多いと感じました。今年も6年生が1年生のお世話を甲斐甲斐しくしており、6年生の成長も感じました。

菅野： エデュケーションアシスタント等、教育活動を手厚く支える支援体制があると分かり、安心しています。学校経営方針を大きく変更しないということは、学校に通う子どもたちも戸惑うことなく安心して生活できるということです。学校の教育活動を改善する方向に変えていくことはよいことだと思いました。

河野： 学校運営委員会では、地域・保護者・学校の代表が学校運営について、それぞれの視点を踏まえて協議している場なのだと理解しました。学校経営方針で「誰にでも居場所がある学校」とされているのはとてもいいと感じました。小学校は安心感があっていいと考えます。私が勤務する大学では、大学生は社会に出ていく将来を見据えて、少し不安がある状態が望ましいと考えています。なぜなら不安を解消するためには、不安に対して準備する必要があるからです。このことを踏まえると、少しでも不安を残した状況を作ると、教育目標にもある「たくましい子」が育っていくのかもしれない。大学生は卒業と同時に社会に放り出されます。子どもたちにチャレンジ精神が培える指導も入れるといいと思います。まずは安定的な学校運営をお願いします。これからどうぞよろしくお願いいたします。